

大福研発第 66 号
平成 30 年 5 月 9 日

各 位

大分県社会福祉介護研修センター所長
(公 印 省 略)

平成 30 年度 第 1 回福祉用具・介護ロボット等研修の開催
について (通知)

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、当研修センターの運営につきましては、平素よりご協力を賜り厚く
お礼申し上げます。

さて、上記研修会を別紙開催要綱のとおり実施しますので、職員の参加方
についてご配慮賜りますようお願いいたします。

平成30年度 第1回福祉用具・介護ロボット等研修 開催要綱

1 目的

厚生労働省は、人材確保につながる介護職場の魅力向上のため、ノーリフティングケアや介護ロボット等の使用を推進しており、抱え上げない介助を行うことで、利用者の身体的負担を軽減できると共に、介護者の腰痛防止にもつながることから、病院・施設・在宅における介護において、有用性は高いと期待されている。

また、平成30年度介護報酬改定にて、特別養護老人ホーム等においては、みまもり機器の導入により、夜勤職員配置加算の要件である人員基準が緩和されることから、機器の導入が進み、介護者の精神的負担軽減につながることを期待されている。

そこで、今回の研修では、「抱え上げない介助」、「みまもり」等について、その概念や機器開発に至る経緯及び導入支援に関する説明、最新機器の体験を行う。

2 日時

平成30年6月13日（水） 9:00～16:30

（受付）8:30～（オリエンテーション）8:50～

3 場所

大分県社会福祉介護研修センター 3階 大ホール

（大分市明野東3丁目4番1号）

4 講師

- ・大分県福祉保健部 高齢者福祉課
- ・佐賀大学名誉教授 齊場 三十四 氏
- ・久留米リハビリテーション病院 理学療法士 今村 純平 氏

5 対象者

介護職員、介護支援専門員、福祉用具貸与事業所職員、福祉用具専門相談員、看護師、理学療法士、作業療法士、指定訪問介護事業所職員、通所介護事業所職員、居宅介護支援事業所、その他福祉・介護に従事する者

6 資料代

1,000円

7 申込方法

別紙申し込み用紙により、平成30年6月8日（金）までにFAXにて当研修センター宛に提出願います。

受講決定通知は送付いたしませんのでご了承ください。

申し込み後のキャンセルにつきましては必ず事前連絡をお願いいたします。

8 定員

100名（先着順）

9 その他

- 1) 当日受付時にお弁当（500円・お茶付き）の販売をしています。
- 2) やむを得ず欠席する場合は、必ず前日までに連絡をお願いします。
- 3) 申込者に関する個人情報は、研修会事業のみの目的で使用することとし、他の目的で使用することはありません。
- 4) 受講希望者が定員を超過した場合は選考とします。その際、お電話にてご連絡いたします。
- 5) 適切な室温調整に努めていますが、個人差があるため、服装等で自己管理をお願いします。
- 6) 研修会場周辺の坂道や信号機のない交差点において交通事故が多発していますので、交差点での一旦停止や左右の安全確認を徹底してください。
- 7) 自然災害等により、研修の開催が困難であると判断した時は、急遽、日程変更等の対応をとる場合があります。その際は、大分県社会福祉介護研修センターのホームページによりお知らせします。

【問い合わせ】

大分県社会福祉介護研修センター
介護研修・総合相談部

福山 慧

大分県大分市明野東3丁目4番1号

TEL 097-552-6888

FAX 097-552-6868

平成 30 年度 第 1 回 福祉用具・介護ロボット等研修 日程

日程：平成 30 年 6 月 13 日（水）

会場：3 F 大ホール

時 間	研 修 内 容
8 : 30 ～	受 付
8 : 50 ～	開 会・オリエンテーション
9 : 00 ～ 12 : 00	<p>【 第 1 部 】</p> <p>(行政説明)</p> <p>『介護ロボット・ノーリフティングケアに関する県事業説明』</p> <p>講師：大分県福祉保健部 高齢者福祉課</p> <p>(体験会)</p> <p>『みまもり系介護ロボットの各社説明会・体験会』</p> <p><対象機器></p> <ul style="list-style-type: none"> ・見まもりシステム 株式会社エイビス ・シルエット見守りセンサ キング通信工業株式会社 ・眠りスキャン パラマウントベッド株式会社 ・見守り介護ロボット「アアムス」 株式会社バイオシルバー ・EVER Relief 構造計画研究所
12 : 00 ～ 13 : 00	昼食・休憩
13 : 00 ～ 16 : 30	<p>【 第 2 部 】</p> <p>(講 演)</p> <p>①『尊厳さを大切にする福祉用具の活用 ～個別性を基盤とする環境自立支援型社会の創造～』</p> <p>講師：佐賀大学名誉教授 齊場 三十四 氏</p> <p>②『抱えない介護の流れを病院からつくる ～リフト使用を組織風土にする取り組み～』</p> <p>講師：久留米リハビリテーション病院 理学療法士 今村 純平 氏</p>
16 : 30	終 了